

意見書

議員発議により、3件の意見書を関係大臣等に提出することになりました。

地方財政の充実・強化を求める意見書
安定的な行財政運営に必要な一般財源の総額を確保することを求める。

牛海綿状脳症（BSE）全頭検査に対する全額補助継続を求める意見書
平成20年7月末でBSE検査補助を打ち切ると決定したのに対し、引き続き補助を求める。

教育予算の拡充を求める意見書
教育水準に格差があってはならず、教育予算を国全体としてしっかり確保・充実させることを求める。

人事

人権擁護委員候補者

丸川敬浩氏(十王)

表彰

総務大臣感謝状(議員在職35年以上)

本木勝利議員



請願審査

採択された請願

白鷹パークゴルフ場コース増設の請願
請願者 白鷹町パークゴルフ協会 会長 佐藤孝平
置賜地区厚生年金受給者協会 白鷹支部長 佐藤琢治

地方財政の充実・強化を求める請願
請願者 連合山形置賜地域協議会 議長 金子 浩

牛海綿状脳症（BSE）全頭検査に対する全額補助継続について
請願者 山形おきたま農業協同組合 経営管理委員会会長 神尾伸一
山形おきたま農協農政対策本部 本部長 神尾伸一

教育予算の拡充を求める提出方請願
請願者 山形県教職員組合置賜地区支部 支部長 林 公子

継続審査になった請願

日豪、日米などFTA・EPA促進路線の転換と、自給率向上に向けた施策の強化を求める請願
請願者 白鷹農民連 今 敏夫

決議

県内トップを切って「最上川の文化的景観」の世界遺産登録を求め
最上川流域の市町村が力を合わせ、最上川文化の更なる発展と交流を図る千載一遇の機会である。
本議会は、世界遺産登録に大きな期待を持ち、県との連携を一層深め、世界遺産登録実現のために努力することを誓いここに決議する。



佐藤五郎氏(米沢中央高校 副校長)より最上川舟道を学ぶ



彦根市「キャッスルロード」の視察

まちづくりは人材であることを学ぶ
中部研修班(7名)は、10月15日から17日の日程で、「観光交流によるまちづくり及び廃校の有効活用に関すること」を研修するため滋賀県彦根市及び愛知県豊田市足助地区を訪問し、視察研修を行いました。
滋賀県彦根市は、彦根城築城400周年にあたり、彦根城周辺は、平日にもかわららず観光客で賑わっております。
彦根市は、交通の要衝として賑わっていた時期もあったが、時代の流れとともに空洞化が進み衰退に向かっています。市は、商店街の活性化に向け「まちづくりの主役は住民である」との認識の下、土地区画整理事業を基盤とした整備と、組合員が主となった法人を設立して再開発事業を展開しました。彦根市では、住民と行政が対等な関係での協働のまちづくりを学びました。
愛知県豊田市足助地区では、住民総出で「もみじ」の植栽を行った事からまちづくりが始まりました。
過疎により活力を失いつつあるとき「保全を開発と信じるまちづくり」であることを基本理念に、今ある歴史や文化や自然を見据えて新しい町の魅力を創り出すものであります。
この度の研修では、まちづくりは、人材だと改めて問い直されるものでした。

交流人口拡大に向けた取り組みに学ぶ

10月23日から25日までの3日間、北九州市豊後高田市、由布市湯布院町へ7名の議員が参加し研修を行いました。
北九州市では多くの観光客を呼び込んでいる歴史的建造物や洋風館を地域資源として活用した門司港レトロ、廃校を活用した図書館や門司港アート村を視察しました。
豊後高田市は昭和30年代の建物が残っていた商店街を官民一体となり昭和の町に再生、商業と観光の一体化をはかったまちづくりを視察しました。
第一回農村アムニティコンクール全国一位の湯布院は、旅館組合、観光協会、農業団体などが一つになり、まちづくりを行っている現状を視察しました。
この度の研修では、行政主導であったまちづくりは、民に移行していて、「行政は見守る」ことが自立的なまちづくりのレベルを向上させていく要因になっていることを学びました。



豊後高田市「昭和の町」ボランティアガイドによる視察